

二〇二〇年一月三十一日

杉玉を吊し新酒の試飲会

かかし

利根秘境箕幅の狭き下り築

愛正

秋灯消し屑残る製図台

素秀

妙見の名水で炊く今年米

よし子

海峡を行き交ふ船に秋惜しむ

うつき

コスモスに次の風待つ楽しさよ

小袖

コスモスの戦ぎて色の混ざり合ふ

うつき

新米の香りの満ちる納戸かな

素秀

グローブのやうな手毛虫つまみ取る

なつき

コスモスの咲いて里山華やげり

よし子

輪を描ける孤高の鳶や秋高し

よう子

毎週句会秀句・みのもる選・二〇二〇年一月一日

名月をあげて生駒嶺神さぶる

せいじ

開け放つ土間に車座新酒酌む

こすもす

里山の落暉に染まる花芒

かかし

コスモスやナナハン止める長い脚

よう子

深秋の無住寺訪ね鐘一打

小袖

翡翠と出くはす苑の良き日かな

はく子

冬桜天保と彫りし常夜燈

なつき